

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	職員の言葉遣いが適切でないときがある(スピーチロックではないかと感じる)。	スピーチロックの理解を深め、身体拘束をしないケアを実践する。	身体拘束等の適正化について、定期的に内部研修を実施し、職員の理解を深め、身体拘束をしないケアへの意識を高める。 研修内容の例としては、スピーチロックについて、身近で出る言葉を取り上げて皆で話し合ったり、言い換えについて検討したりを行う。	12ヶ月
2	35	緊急時は併設病院の医師に連絡・相談し指示をおおげる体制ではあるが、医師・看護職員が不在の時に備え、利用者の生命にかかわる緊急時を想定した訓練が必要。	もしもの時に備え、ロールプレイ訓練を実施する。 (年1回以上)	珠洲ふれあい講座などを利用し、積極的に救命について学ぶ機会を作る。 緊急時の対応マニュアルを作成し、職員間で共有する。 緊急時の対応訓練を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。